

新製品紹介

4ポート版HG-E-PON FNP2101

本製品は、FTTHアクセス網をパッシブダブルスター方式で実現するための装置である。このFNP2101は、旧機種FNP1102の後継機種であり、伝送性能はそのままに、実装密度を2倍とした。また、インタフェース面をすべて前面に移動し、電源を2重化することで、保守性・信頼性を向上させた。万が一、1台の電源が故障しても、片系統の電源で運用が継続でき、なおかつ故障した側の電源は、通信サービスを止めることなく交換できる。

ネットワーク通信市場では、高速環境を志向するユーザを中心にFTTHサービスは拡大傾向にあるが、それと同時に通信事業者ではサービスコスト低減と収容効率が課題となっている。

本システムはファイバを伝送路の途中（加入者の近傍）で32分岐し、伝送路途中にアクティブな機器類を一切介さないパッシブダブルスター方式のFTTHインフラを実現するため、幹線網でのファイバ心数を大幅に削減することができる。本装置は1台で128加入を収容することで、小型化、高

密度化を実現し、収容局のスペース確保の問題を一掃している。

運用面で旧機種と比較すると26dBのロスバジェットを28dBに広げることで、ネットワーク線路設計の自由度が向上した。さらにセキュリティ面の強化を図り本装置への不正アクセスにも対応した。

使用波長は収容局からの下り方向の波長帯は従来の1,550nm帯に加え、1,490nm帯も用意した。下り1,490nm帯を使用することで1,550nm帯を映像用に割り振ることができるようになるため、1心の光ファイバで映像および情報を多重化して伝送するシステムへの適用も可能となった。加入者からの上り方向は1,310nm帯を使用している。

加入者用装置も、初期型から改良を加え、軽量化、低消費電力を実現したFNP5003の量産出荷を開始している。

（光システム事業部光システム技術部 山田）



図1 HG-E-PON FNP2101 (局用装置)



図2 HG-E-PON FNP5003 (加入者用装置)

〔お問い合わせ〕

光システム技術部

TEL 03-5606-1202 FAX 03-5606-1536

E-mail : lan_info@fti.fujikura.co.jp